

■インド：民間電力大手のリライアンス社、電気事業から撤退

2017年10月3日付の報道によると、国内の大手民間電気事業者であるリライアンス・インフラストラクチャーは、インド最大都市ムンバイで発電、送電、配電（小売）を営んでいるが、これらの事業を売却し電気事業から撤退する。売却額は1,400億ルピー（約2,400億円）と見込まれ、売却先には国内再エネ最大手である Greenko（シンガポールとアブダビ資本）のほか、CLP（香港）、タタ、Enel（イタリア）等が候補に挙がっている。リライアンス・インフラストラクチャーを傘下に持つリライアンス・グループの負債額は約2,000億ルピー（約3,460億円）に上り、負債圧縮のために電気や通信などの事業を整理している。今後は、防衛事業とEPC事業に注力するとしている。